

(様式 1)

大阪市立十三中学校 平成 28 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

全国学力・学習状況調査（以下、「学力調査」と表す）やチャレンジテストにおいて、本校の各項目平均正答率は大阪府の平均にも及ばず、学力の向上は喫緊の課題である。ただ、部活動や各種の積極的な取組により、生徒の学習環境や意欲は向上しつつあり、校内施策の充実を図ることにより、結果に結びつけることが必要である。

道徳心・社会性の面でも、職員が、自己肯定感を持つ生徒が増加しつつあると感じており、さまざまな教育活動の一層の充実を図る。

健康・体力の面では、毎日決まった時刻に就寝・起床を行う生活習慣の定着が不充分であると言わざるを得ず、「分権型教育行政システムの推進」に則り、区役所と連携してその改善を図る必要がある。

中期目標

【視点 学力の向上】

○平成 28 年度チャレンジテストにおける平均正答率を府レベル以上にする。 (カリキュラム改革関連)

○中学校 3 年生での英検 3・4 級程度の英語力を有する生徒の割合を 65% にする。〔現中 2 43% 〕 (カリキュラム改革・グローバル化改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

○学校で認知したいじめについては、解消に向けて組織的に対応している割合を 100% で維持する。 (マネジメント改革・学校サポート改革関連)

○学力調査における、「学校の規則を守っていますか」の項目における肯定的な回答の割合を前年度以上にする。〔27 年度 94.6% 〕 (マネジメント改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

○学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を昨年度より向上させる。〔27 年度 「寝る」 72.0% 「起きる」 93.1% 〕 (カリキュラム改革関連)

○年度末生徒アンケートにおける、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を年度当初より向上させる。 (カリキュラム改革関連)

【視点 学校に対する関心の高まり】

○学校ホームページの閲覧数を前年度以上にする。〔27 年度 2 月末 23,515 件〕 (マネジメント改革関連)

○学校協議会の傍聴人数を 20 人以上にする。 (マネジメント改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 平成28年度チャレンジテストにおける平均正答率を府レベル以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 中学校3年生での英検3・4級程度の英語力を有する生徒の割合を65%にする。〔現中2 43%〕 (カリキュラム改革・グローバル化改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校で認知したいじめについては、解消に向けて組織的に対応している割合を100%で維持する。 (マネジメント改革・学校サポート改革関連)
- 学力調査における、「学校の規則を守っていますか」の項目における肯定的な回答の割合を前年度以上にする。〔27年度 94.6%〕 (マネジメント改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 学力調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を昨年度より向上させる。〔27年度 「寝る」72.0% 「起きる」93.1%〕 (カリキュラム改革関連)
- 年度末生徒アンケートにおける、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目における肯定的な回答の割合を年度当初より向上させる。 (カリキュラム改革関連)

【視点 学校に対する関心の高まり】

- 学校ホームページの閲覧数を前年度以上にする。〔27年度2月末 23,515件〕 (マネジメント改革関連)
- 学校協議会の傍聴人数を20人以上にする。 (マネジメント改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括